

持続可能な社会に貢献する考え方・取り組み

ダイキングループ『サステナビリティレポート 2018』発行

ダイキン工業株式会社はこのたび、『サステナビリティレポート 2018』を発行しました。

このレポートは、当社グループが事業を通じて持続可能（サステナブル）な社会に貢献していくための方針や活動をまとめたものです。「持続可能な開発目標（SDGs）」や「パリ協定」など世界の共通目標を踏まえ、環境負荷を低減しながら、安心して健康な空気空間を実現するための取り組みを掲載しています。

『サステナビリティレポート 2018』の主な概要

1. 「CO₂排出ゼロ」をめざす「環境ビジョン 2050」を策定

パリ協定に賛同する当社グループは、事業を取り巻く 2050 年の社会を見据えて「CO₂排出ゼロ」をめざす環境長期ビジョンを策定しました。従来取り組んできた当社製品のライフサイクル全体での環境負荷低減に加えて、IoT・AI を活用したエネルギーマネジメントやバリューチェーンを通じたエネルギーサービスの提供、冷媒の回収・再生等により、「CO₂排出ゼロ」をめざします。

2. 「CSR 行動計画 2020」で目標と実績を報告

CSR 重点テーマの定量指標を設定し、2020 年目標と 2017 年度の実績を一覧で掲載しました。テーマごとに、より具体的な数値指標を設定し、進捗を管理することで、安心して健康な空気空間の提供と、透明で誠実な事業活動を着実に推進します。

主な CSR 重点テーマの 2020 年度目標と 2017 年度実績

■環境

〔目標〕 環境調和製品^{※1}の普及推進により、全世界で温室効果ガス排出量を 6,000 万 t-CO₂ 抑制
〔実績〕 同 5,400 万 t-CO₂ 排出抑制／住宅用エアコンにおける環境調和製品の売上高比率 83%

〔目標〕 生産活動における温室効果ガス排出量を 2005 年度比 70%削減（158 万 t-CO₂ に削減）
〔実績〕 同 74%削減（135 万 t-CO₂ に削減）

■人材

〔目標〕 ダイキン工業 女性管理職比率 10%
〔実績〕 同 4.9%（2016 年度 4.4%）

3. 事業を通じて社会にさまざまな価値を提供する事例を特集記事で紹介

新価値創造：「オープンイノベーションで、疲労の軽減につながる快適な空気環境を創出」

当社は理化学研究所と共同で「健康で快適な空間づくり」の研究を進めています。その第一弾として「疲れにくい空間づくり」をテーマに検証を行い、初めて温度や湿度などの室内環境と疲労度の関係を明らかにしました^{※2}。今後、科学的根拠をもとに製品開発を進めるなど、社会の求める課題解決に貢献する新しい価値創造に取り組んでいきます。

人材：「米国で取り組む人材育成 - 地域社会とともに成長するために」

2017 年 5 月に米国テキサス州に設立したグループ最大規模のエアコン工場は、積極的な雇用や人材育成により、地域社会とともに成長することをめざしています。製造部門に限らず、マーケティング・営業・サービスなど、幅広い分野で従業員一人ひとりが目的とやりがいを持って働くことが、技能水準や製品の品質向上につながっています。

※1 環境調和製品・・・「従来機に比べ 30%以上消費電力低減」「従来冷媒より温暖化係数が 1/3 以下の冷媒を使用」のいずれか、もしくは両方を満たす製品。

※2 第 14 回日本疲労学会総会・学術集会「冬季の室内の温度湿度がヒトの自律神経機能に与える影響」にて発表（2018 年 5 月）。